



みんなでつくる
まちの未来

みんなで
魅力作りに
チャレンジしようかな
育ったこのまちが
大好きだわ

新しくできたお店
行ってみない？

どこ行くの？

ちよつと
歩ぎにくいね

人が多いから
歩きやすく
なるといいね



○ はじめに	1
○ 「まちの未来像」の描き方	3
○ 9つの未来像を実現したまちの姿	4
○ 9つの未来像実現に結び付くまちの空間デザイン	15
○ ソフトとハードが一体となったまちづくりの推進	19
○ 9つの未来像実現のためのまちづくり推進体制	22
○ ソフトとハードが一体となったまちづくり推進プロセス	23

はじめに

「三茶のミライ」とは

「三茶のミライ」は、基本方針に示すまちのビジョン「進化し続ける交流のまち『三茶 Crossing』」の実現に向けて、様々な分野が横断的に包括され、多様な主体が連携したまちづくりの取組みを行うための「みんなの計画」であるということを基本理念とし、「まちの未来像」「まちの未来像実現のための取組み」「まちの未来像実現に結び付くまちの空間デザイン」「まちづくり推進プロセス」を示すものです。

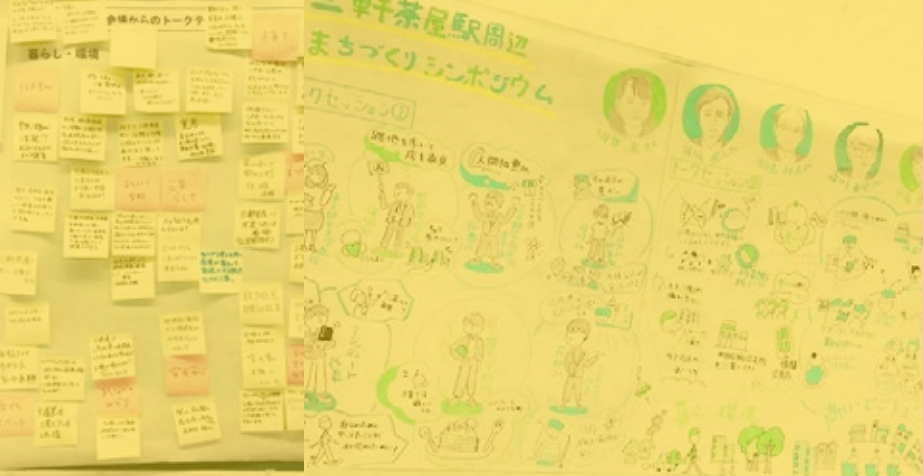
「みんな」とは？

区民・事業者・町会・商店街・大学・世田谷区など三軒茶屋駅周辺に関わりを持つ多様な主体を指しています。

なぜ「三茶のミライ」？

この計画を誰でも親しみやすく気軽に手に取ってもらえるように、「三茶」という気さくさと、カタカナの「ミライ」が出すポップさと柔らかさを掛け合わせて命名しました。

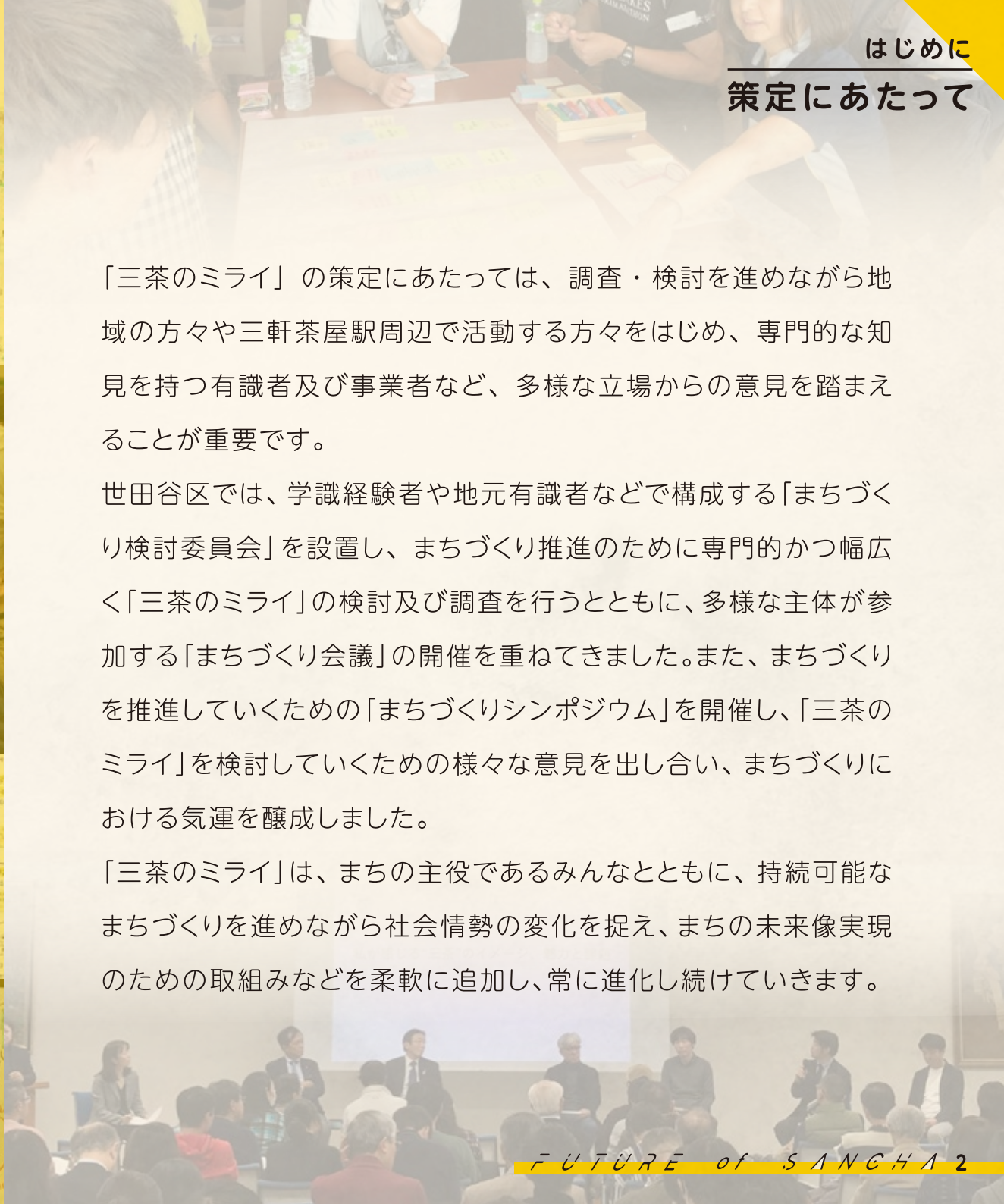




「三茶のミライ」の策定にあたっては、調査・検討を進めながら地域の方々や三軒茶屋駅周辺で活動するの方々をはじめ、専門的な知見を持つ有識者及び事業者など、多様な立場からの意見を踏まえることが重要です。

世田谷区では、学識経験者や地元有識者などで構成する「まちづくり検討委員会」を設置し、まちづくり推進のために専門的かつ幅広く「三茶のミライ」の検討及び調査を行うとともに、多様な主体が参加する「まちづくり会議」の開催を重ねてきました。また、まちづくりを推進していくための「まちづくりシンポジウム」を開催し、「三茶のミライ」を検討していくための様々な意見を出し合い、まちづくりにおける気運を醸成しました。

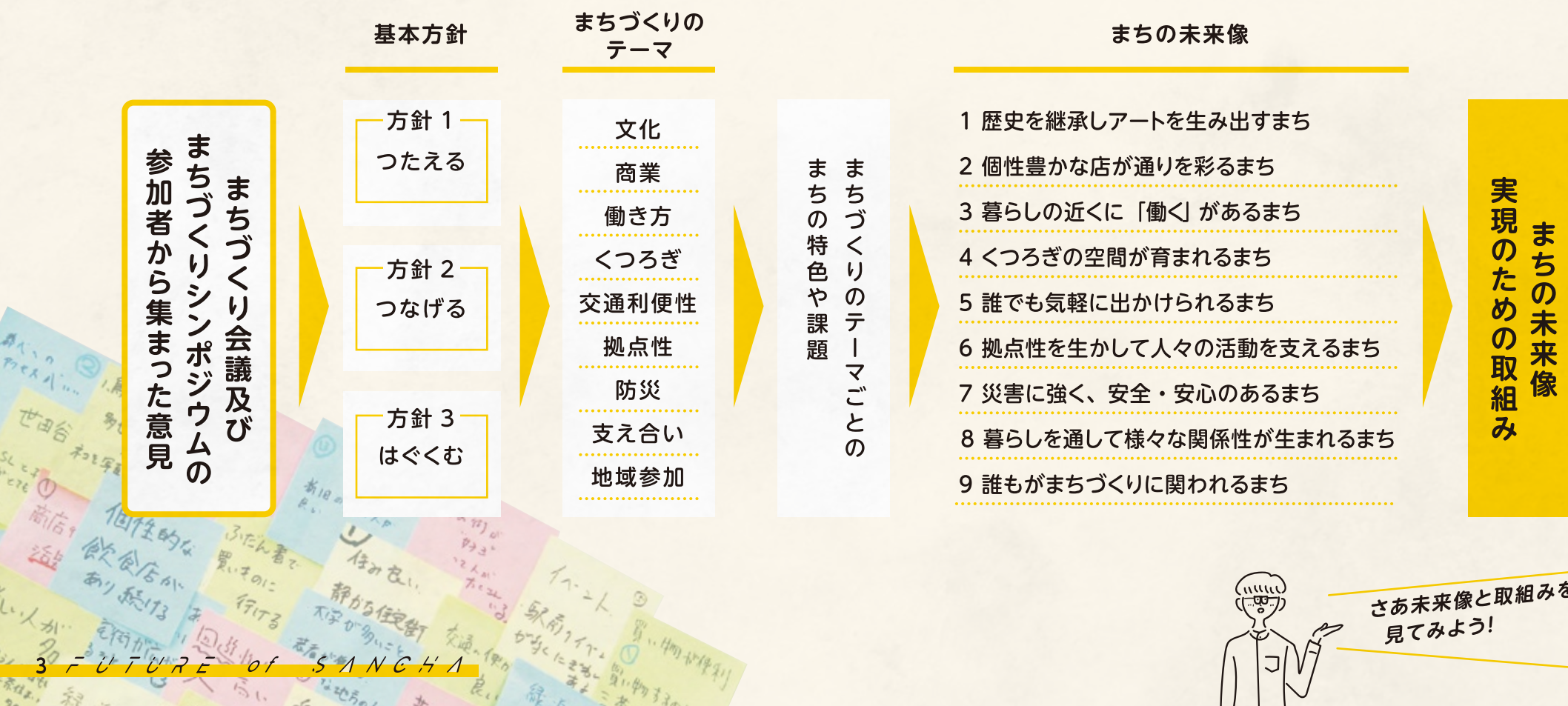
「三茶のミライ」は、まちの主役であるみんなとともに、持続可能なまちづくりを進めながら社会情勢の変化を捉え、まちの未来像実現のための取組みなどを柔軟に追加し、常に進化し続けていきます。



「まちの未来像」の描き方

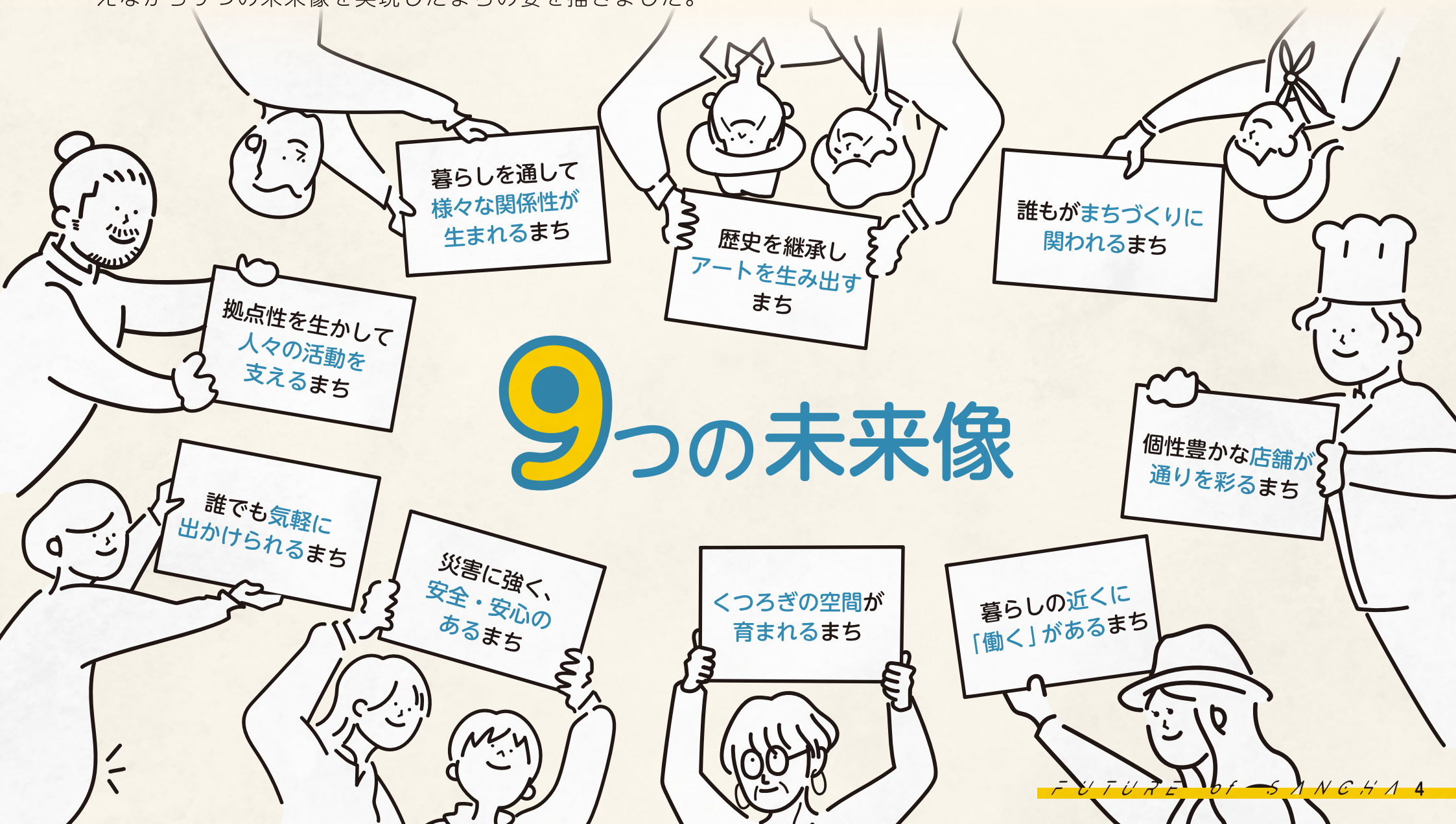
「三茶のミライ」では、基本方針を基に、「みんなの計画」として検討を進めていくために、まちづくり会議とまちづくりシンポジウムの参加者が、合計 947 枚の付せんによる生の意見を出し合いました。

この意見をまちづくりのテーマとして整理・分類し、まちづくり検討委員会などでの検討を経て、さらにテーマごとにまちの特色や課題を整理しました。また、検討状況をまちづくり会議で共有し、参加者の意見を大切にしながら、まちの未来像を描き、まちの未来像実現のための取組みを導き出しました。



9つの未来像を実現したまちの姿

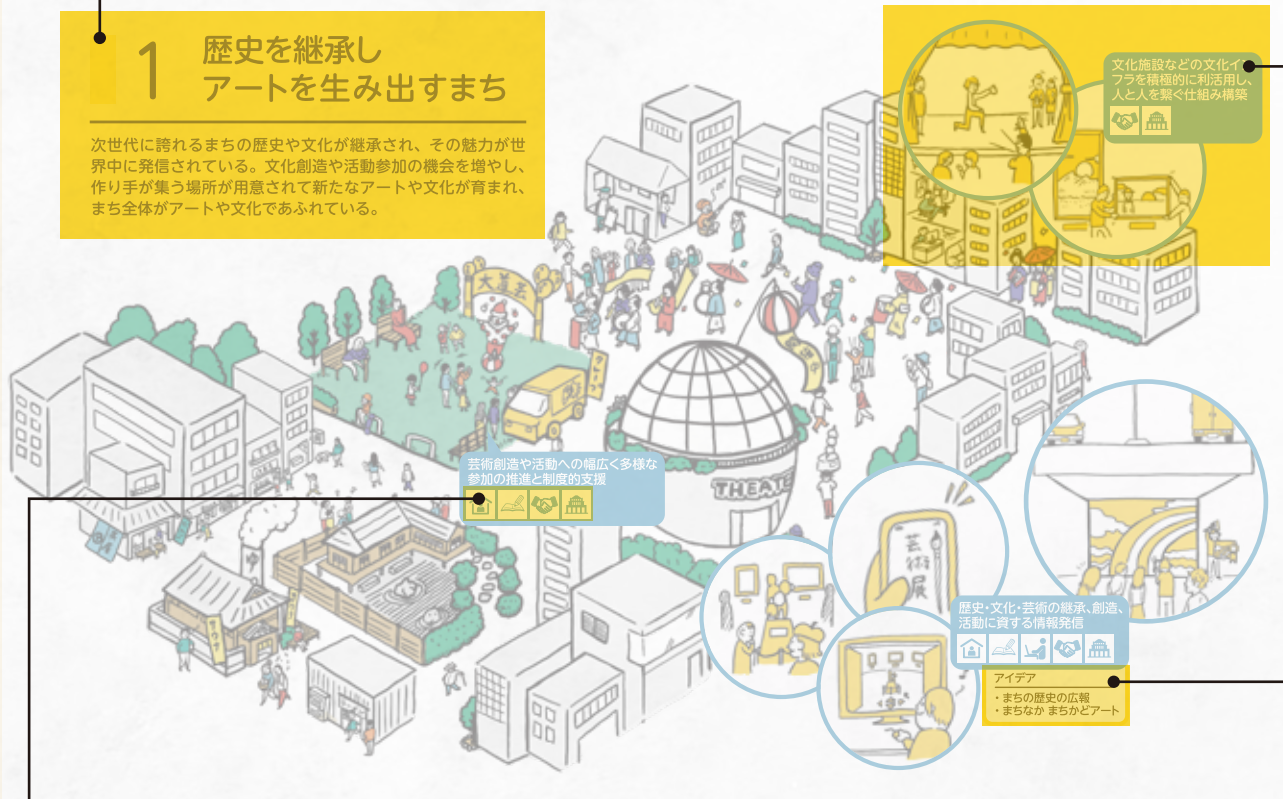
より多くの人々が三軒茶屋駅周辺まちづくりに興味を持ち、さらに次の行動を起こすきっかけとなるよう、イラストを交えながら9つの未来像を実現したまちの姿を描きました。



まちの未来像

1 歴史を継承し アートを生み出すまち

次世代に誇れるまちの歴史や文化が継承され、その魅力が世界中に発信されている。文化創造や活動参加の機会を増やし、作り手が集う場所が用意されて新たなアートや文化が育まれ、まち全体がアートや文化であふれている。



まちの未来像実現のための取組み

取組み

「三茶のミライ」が「みんなの計画」であるという基本理念に基づき、まちづくり会議などで共有した幅広い意見をまちづくり検討委員会などの視点を踏まえながら整理しました。

新しい取組みに繋げたいアイデア

アイデア

新しい取組みに繋げたいと考えているアイデアを、まちづくり会議などでの意見から整理しました。

取り組む主体 (期待できる主体、既に実施している主体)



住む人

主に対象区域に住む区民や町会などの区民組織



土地建物
を持つ人

居住地を問わず、主に対象区域内で土地や建物を所有する個人や組織など



学ぶ人

主に勉学のために対象区域を訪れる人



働く人

対象区域内で働く
個人事業主、法人など



支援する
組織

対象区域内のまちづくり活動を支える団体など



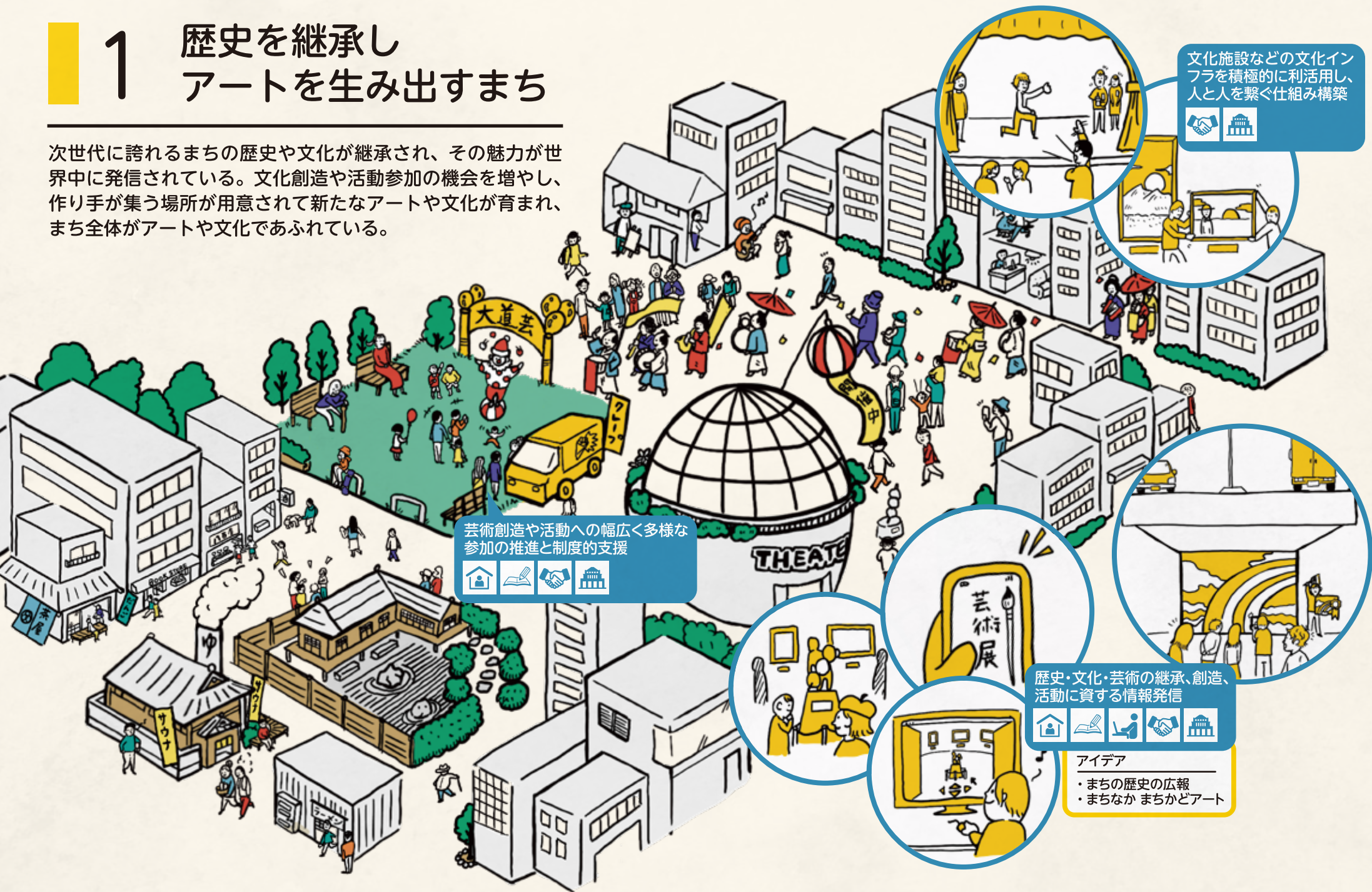
行政

世田谷区、東京都、国土交通省など

※取組みにあたっては、道路管理者や交通管理者、関連する事業者などの多様な主体と連携を図っていきます。

1 歴史を継承し アートを生み出すまち

次世代に誇れるまちの歴史や文化が継承され、その魅力が世界中に発信されている。文化創造や活動参加の機会を増やし、作り手が集う場所が用意されて新たなアートや文化が育まれ、まち全体がアートや文化であふれている。



2 個性豊かな店が 通りを彩るまち

個性豊かな店舗が通りを彩り、界わい性を育んでいる。
様々な事業者や商店などが連携することによって新たな魅力
を生み、まちの活気が継続している。



新たなビジネスモデルの開発
など、事業所の経営基盤強化



アイデア

・まちなかホテル



民間企業や金融機関、産業支援機関、
大学などと連携した創業推進・事業支援



地域活性化に向けた、多世
代が楽しめるイベント実施



商店街活性化を
図るための支援



中小事業者の経営継
続のための産業振興



SNS、紙媒体など様々な手法を
用いた魅力的な店舗やまちなか
観光などに関する情報発信



魅力あるまち並みなどを継承す
るためのまちづくりルール構築



様々な事業者の連携による
新たな名物や魅力の創出



アイデア

・三茶ブランドの掘り起こし

空き家や店舗シェアリングの制度を活用
した創業・個店が増加する仕組み構築



アイデア

・ポップアップストア
・チャレンジショップ制度
・シェアロースタリー

3 暮らしの近くに 「働く」があるまち

暮らしの近くで様々な働き方ができる環境があり、そうした場所に人が集まり、活気づいている。起業・創業への後押しが、人々を呼び込み、新たなチャンスが生まれている。

自由自在な仕事の仕方ができる
オフィス整備及び利用推進



アイデア

・地域密着コワーキングスペース

多様な働き方促進に
向けた ICT 環境整備



新たな産業の育成となる起業や
就労に関する発信



中小企業などとのマッチングの推進



アイデア

・異業種のマッチング

多様な働き方を推進する
起業・創業・事業者への支援



SETAGAYA
PORT

4 くつろぎの空間が 育まれるまち

まちなかに広がる公共的空間が居心地の良い場所を生み、人とまちを繋いでいる。駅周辺は清潔感にあふれ、まち並みとみどりが調和した良好な環境が、人々の愛着心を育てている。



質、量ともに豊かな地域にするための緑地空間整備



街区一体化などの面的整備に合わせまちづくり活動ができる広場空間整備



喫煙場所の整備及び支援



定期的な美化活動やリサイクル活動及び路上喫煙禁止の啓発活動の推進



憩いとなるみどりを推進するための仕組み構築



滞在性を向上させる公共的な空間の利活用の推進



アイデア

・ストリートファニチャーの設置

BEFORE



商業空間の利活用により回遊性を高めるための休憩場所などの整備



アイデア

・仮設物を用いた小規模なまちの居場所づくり

5 誰でも気軽に 出かけられるまち

地上や地下に広がる複層的なまちなかを行き来できるなど、誰もが行きたいところに安心して移動ができ、まち全体が繋がっている。環境負荷の低い公共交通や自転車、新たなモビリティなどの様々な移動サービスが連携し、利用や乗り換えが快適になっている。

通行環境の向上を目指した
歩きやすい歩行空間整備



アイデア

- ・歩道拡幅
- ・シェアドスペース
- ・優しい案内、ガイド、サインの設置

住宅地の交通安全に向けた
自転車通行空間整備



シェアサイクル活用などによる
自転車利用環境の改善



南北方向の分断回避を目指し
た道路横断機能の整備



新たなモビリティなどの活用に向けた
利用環境の整備及び利便性向上促進



6 拠点性を生かして 人々の活動を支えるまち

古くからの街道の分岐点であることや公共交通が充実している利便性を活かし、公共サービスを始めとした拠点ならではの機能が集約されることで拠点性が高まり、人々の活発な活動を支えている。

市街地の再構築として高度利用などによる魅力ある拠点の創出と商業・業務・滞在施設など機能の集積



公共施設機能の複合化、多機能化



交通利便性向上を目指した公共交通などの乗換え機能の集約



地下空間における魅力ある広場などの創出



公共施設及び公共的空間の活用推進に向けた仕組み構築

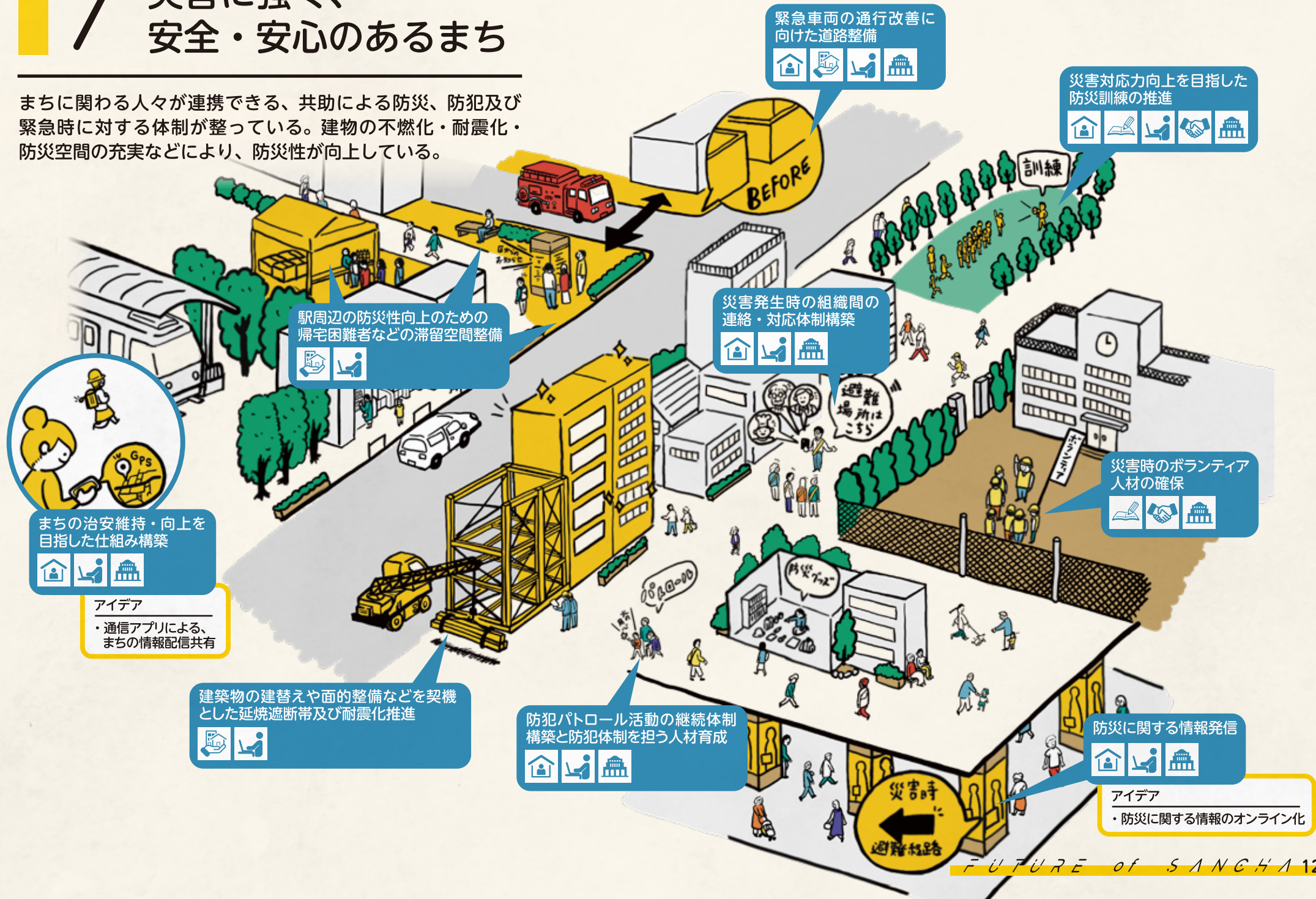


アイデア

- ・路上ライブ
- ・子どもの遊び場づくり
- ・時間指定レーンマネジメント

7 災害に強く、安全・安心のあるまち

まちに関わる人々が連携できる、共助による防災、防犯及び緊急時に対する体制が整っている。建物の不燃化・耐震化・防災空間の充実などにより、防災性が向上している。



8 暮らしを通して様々な 関係性が生まれるまち

多様な暮らしが重なり合う中で、助け・支え合い、相互理解を深めながら、お互いを尊重し合う関係性が生まれている。こうした包容力が地域内外でのさらなる交流を生み出している。



せたがや国際交流センターを拠点とした多文化共生の推進



パブリックスペースを活用した地域活動の推進



団体の分野や世代を超えた交流を促進させるイベント実施



アイデア

- ・三茶の魅力を発見する学びの場

多種多様な人々へまちの魅力発信



アイデア

- ・三茶アンバサダーによる魅力発信
- ・観光オンラインツアー

地域活動などに参加しやすい環境の整備



地域の困りごとと解決方法をマッチングさせることを目指したイベント実施



アイデア

- ・お困りマッチング会議

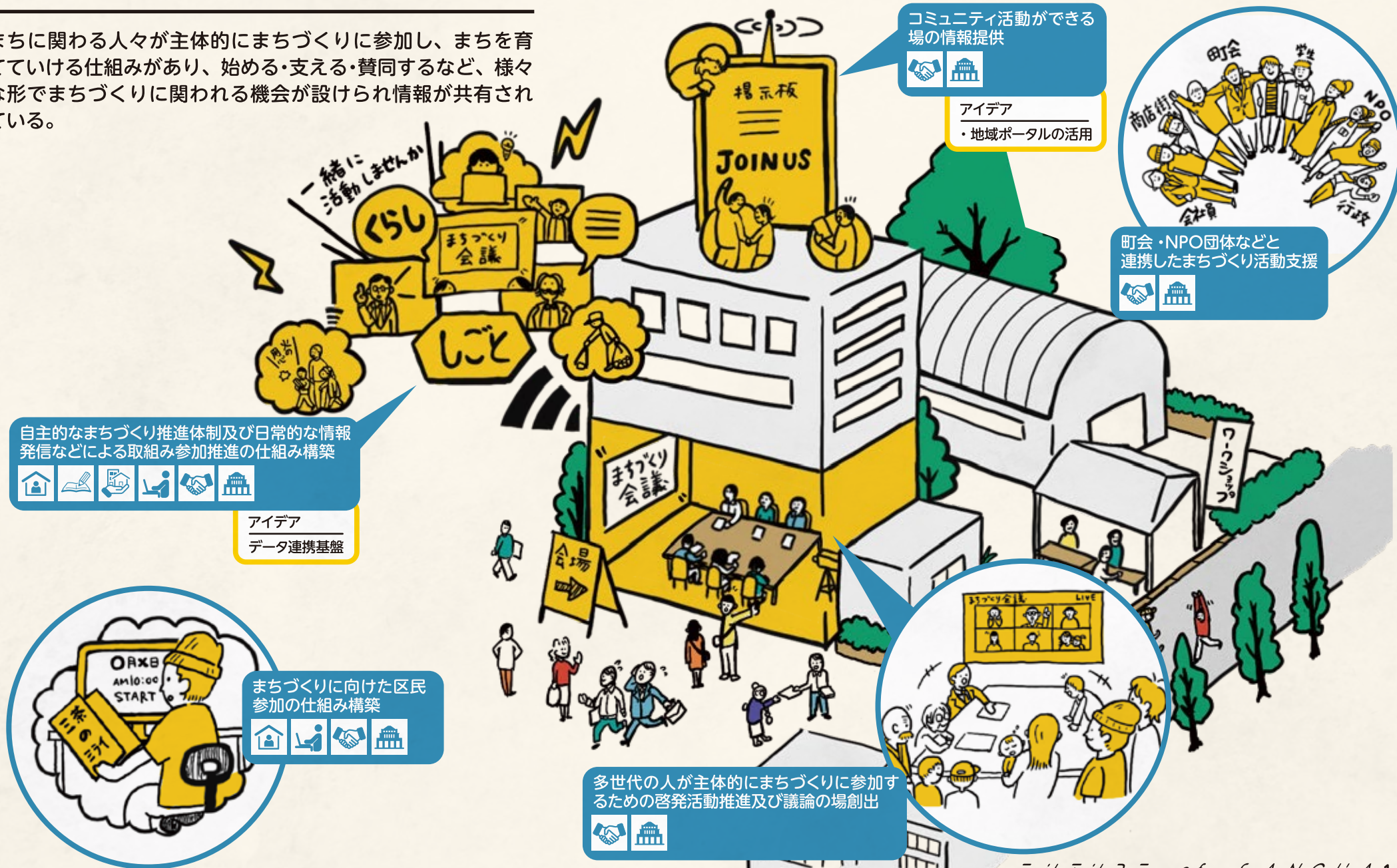


既存建築ストック提供者と活用希望者とのマッチング推進



9 誰もがまちづくりに 関われるまち

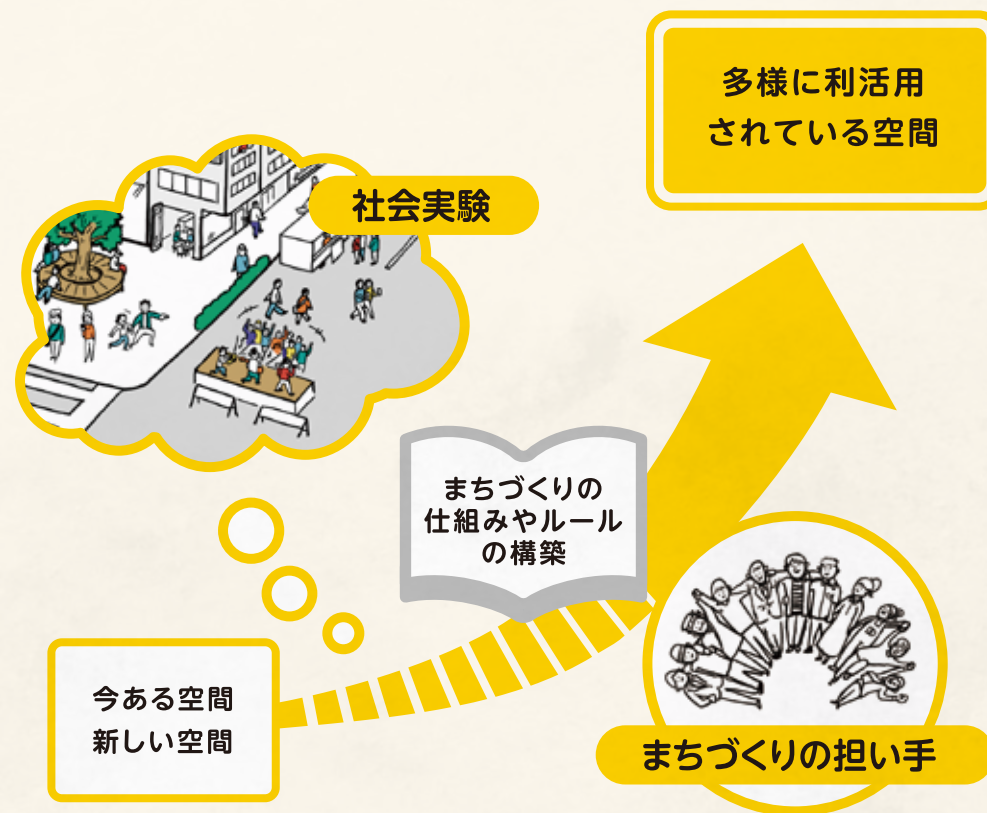
まちに関わる人々が主体的にまちづくりに参加し、まちを育てていける仕組みがあり、始める・支える・賛同するなど、様々な形でまちづくりに関われる機会が設けられ情報が共有されている。



9つの未来像実現に結び付くまちの空間デザイン

9つの未来像実現のための取組みには、すぐに始められるものがある一方、都市基盤に関する新しい空間を創出するものもあります。これらを推進するためには、多様な主体同士が連携し、具体化していくことが必要であり、今ある空間の利活用や新たな空間の創出及び利活用、さらにまちづくりの仕組みやルールの構築を一体的に捉え、「まちの空間デザイン」としてまとめました。

9つの未来像実現のための取組みから抽出した「まちの空間デザインに関する取組み」と、基本方針で示す「機能イメージ^{※1}」及び「基盤整備イメージ^{※2}」を基に4つのポイントに整理し、今後、まちの空間デザインに関する取組みについて、社会実験などを実施することで具体化し、一つひとつの取組みが繋がり加速し、また、新たな取組みも加わり、みんなが連携した社会実装に繋がっていきます。



(※1)基本方針で示す機能イメージは、「Crossing ゾーン」、「玉川通り沿道ゾーン」、「魅力共存ゾーン」、「住宅地と商業地のバッファゾーン」の各ゾーンのイメージのことです。

(※2)都市基盤イメージは、「スムーズな移動や乗り換え」、「パブリックスペースの創出」、「地下空間の活用」、「歩行者空間の充実」、「歩行者の南北移動の円滑化」、「回遊性向上に寄与する動線の強化」に関するイメージのことです。

まちの空間デザインの
大切な4つのポイント

関係する9つの未来像

考え方

まちの個性・魅力の継承・強化、
パブリックスペースの活用

未来像 1 歴史を継承しアートを生み出すまち

未来像 2 個性豊かな店が通りを彩るまち

未来像 6 拠点性を生かして人々の活動を支えるまち

未来像 8 暮らしを通して様々な関係性が生まれるまち

まちの歴史や文化、個性豊かな店舗などの界わい性など、まちの個性の継承や、地域内外のさらなる交流など新たな魅力を生み出すために、魅力あるまち並みを継承するまちづくりのルール構築やパブリックスペースなどの活用を図っていきます。

拠点性を生かした都市機能集積、
パブリックスペースの創出、
防災性の向上

未来像 3 暮らしの近くに「働く」があるまち

未来像 4 くつろぎの空間が育まれるまち

未来像 6 拠点性を生かして人々の活動を支えるまち

未来像 7 災害に強く、安全・安心のあるまち

拠点ならではの機能の集約や防災性の向上を一体的に進め、人々の活発な活動を支えていくために、市街地の再構築による拠点の創出や、暮らしの近くで様々な働き方ができる環境などの機能集積と合わせて、広場空間整備や延焼遮断帯の形成及び建築物などの耐震化を図っていきます。

歩行者空間の充実、
スムーズな移動や乗換え、
回遊性の向上

未来像 4 くつろぎの空間が育まれるまち

未来像 5 誰でも気軽に出かけられるまち

まち並みとみどりが調和した居心地の良い場所を生み出すとともに、公共交通の利用や乗換えが快適となるよう、質、量ともに豊かな地域にするための緑地空間や歩きやすい歩行空間などを整備し、居心地が良く、歩きたくなるまちの回遊空間を充実させていきます。

南北移動の円滑化、
地下空間の活用・創出

未来像 5 誰でも気軽に出かけられるまち

未来像 6 拠点性を生かして人々の活動を支えるまち

地上や地下に広がる複層的なまちなかを行き来できるなど、まち全体を繋げ、誰もが行きたいところに安心して移動できるように、南北分断解消のための道路横断機能や地下空間における魅力ある広場などの整備の誘導を図っていきます。

まちの空間デザインのポイントイメージ図





芸術創造への参加の
推進とそれに対する
制度的支援

未来像 1



魅力あるまち並みなどを
継承するためのまちづ
くりルール構築

未来像 2



パブリックスペースを
活用した地域活動の推進

未来像 6,8



面的整備に合わせ、
まちづくり活動ができ
る広場空間整備

未来像 4



魅力ある拠点の創出と
機能の集積

地下空間における魅力
ある広場などの創出

未来像 3,6



建替えなどを契機とし
た延焼遮断帯及び耐震
化の促進

未来像 7



質、量ともに豊かな緑地
空間整備

未来像 4



歩きやすい歩行空間
整備

未来像 5



南北分断回避を目指した
道路横断機能整備

未来像 5

凡例

まちな個性・魅力の継承・強化、パブリックスペースの活用

拠点性を生かした都市機能集積、パブリック
スペースの創出、防災性の向上

歩行者空間の充実、スムーズな移動や乗換え、回遊性の向上

未来像
1,2,6,8

未来像
3,4,6,7

未来像
4,5



南北移動の円滑化

未来像
5,6



地下空間の活用・創出

未来像
5,6



交流の軸

回遊・交流に資する地域資源

回遊路

公園、緑道、庁舎等の公共施設

大学、寺院等の公的施設

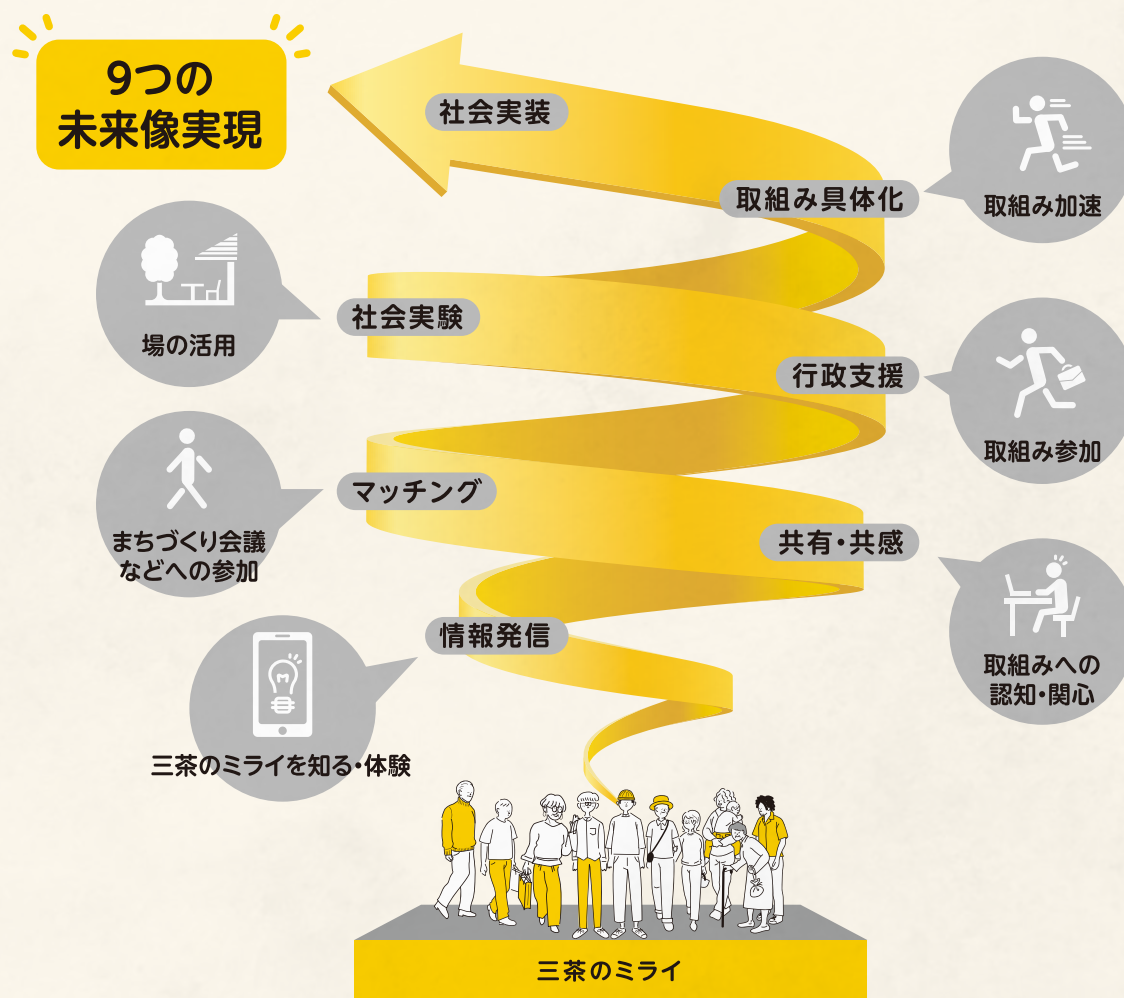
ソフトとハードが一体となったまちづくりの推進

参加と協働による持続可能なまちづくり

9つの未来像実現に向けて、共に理解し、知恵を出し合い、協力しながら様々な立場で役割を担って、協働することが重要になります。加えて、近年の気候変動を考慮した対応や、今般のコロナ危機を乗り越えていくサステナブル・リカバリーの考えにおいては、人々の意識や行動の変化に適応したまちづくりが求められており、今後の社会動向も踏まえた多様な主体の連携による新たな関係性の構築も欠かせません。

今後、「三茶のミライ」を基に、まちづくり推進体制の構築や、社会実験を中心にみんなができる取組みに参加し、身近な活動を行いながら協働による持続可能なまちづくりを進めていきます。

みんなで取り組む9つの未来像実現のイメージ





参加と協働による持続可能なまちづくりを推進するためには、まちづくりの担い手の連携や新規活動者の継続的な参加が重要です。これら2つの実現にあたり、まちづくり会議を発展させ、まちづくりの担い手が育ち、繋がる仕組みをつくれます。

この「まちづくりの担い手が育ち繋がる仕組み（まちづくり会議の発展）」は、まちづくりの担い手同士のマッチング、人材育成、まちづくり会議などでの活動報告や新たなまちの動きなどの情報共有、さらに地域内外に対してまちの魅力を発信するといった役割を果たしていきます。

まちづくりの担い手が育ち繋がる仕組みを支える組織について

まちづくりを推進するための担い手が育ち繋がる仕組みを支えていくには、行政主体ではなく、まちづくりを中立的な立場で支援する「まちづくり支援組織」が、その運営を担うことが、望ましいと考えます。

まちづくり支援組織は、担い手が育ち繋がる仕組みを介して、多様な担い手が、まちづくり活動の価値を高めていくための連携を支援します。

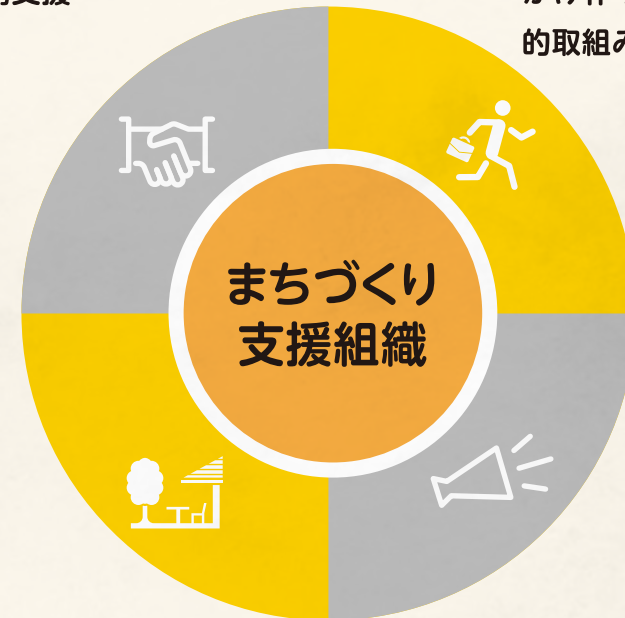
また、地域活動で使用されている公共空間がある一方、十分に活用できていない空間も存在していることから、こうした空間の活用に向け、9つの未来像実現のための取組みを実施するための場や機会の環境整備と行政を初めとした関係者間の調整を行います。

さらに、まちづくり活動のきっかけ作りのための先導的取組みなどを展開し、担い手や世田谷区とともに、まちづくりの気運を高める取組みなど、まちづくりの推進における機能的でオープンな体制の一翼を担っていきます。

まちづくり支援組織が担う活動

まちづくりの担い手
同士の連携支援

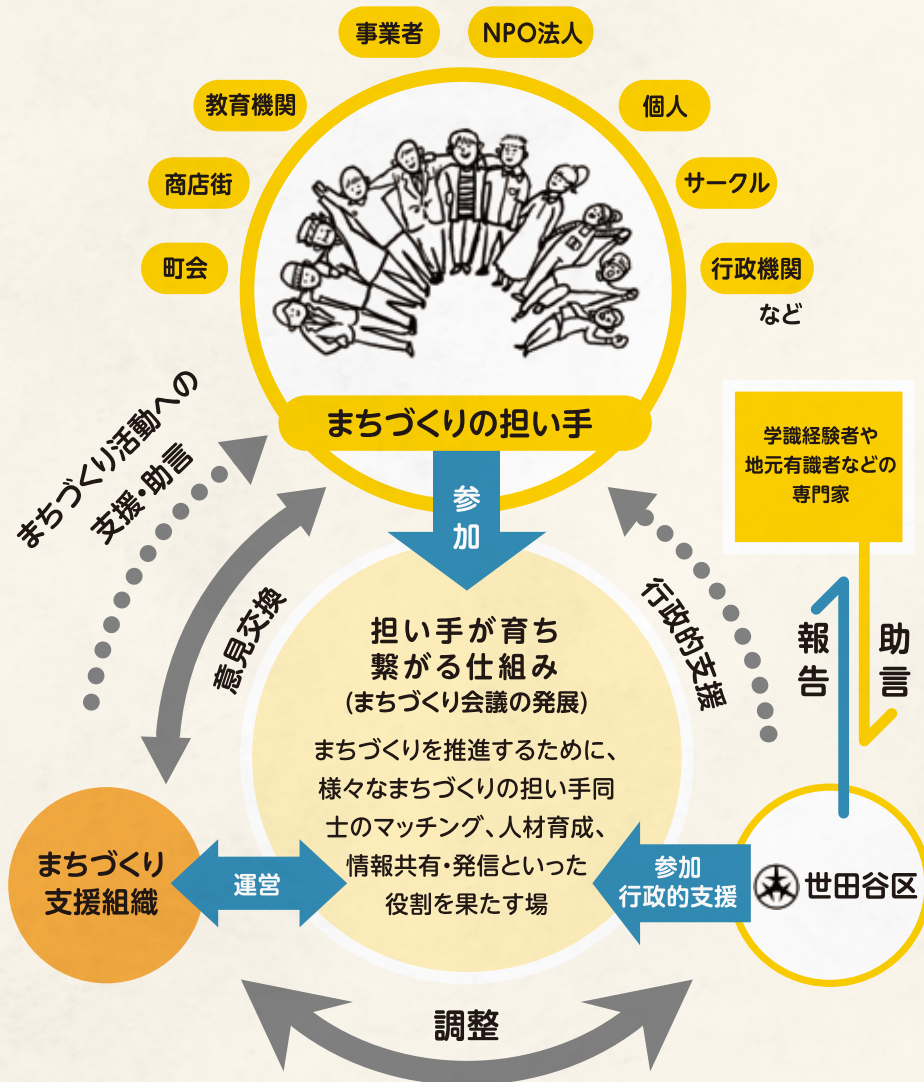
まちづくり活動のきっ
かけ作りのための先導
的取組みなどの実施



9つの未来像実現のための
取組みを実施する場・機会の
環境整備

関係者間の調整

9つの未来像実現のためのまちづくり推進体制



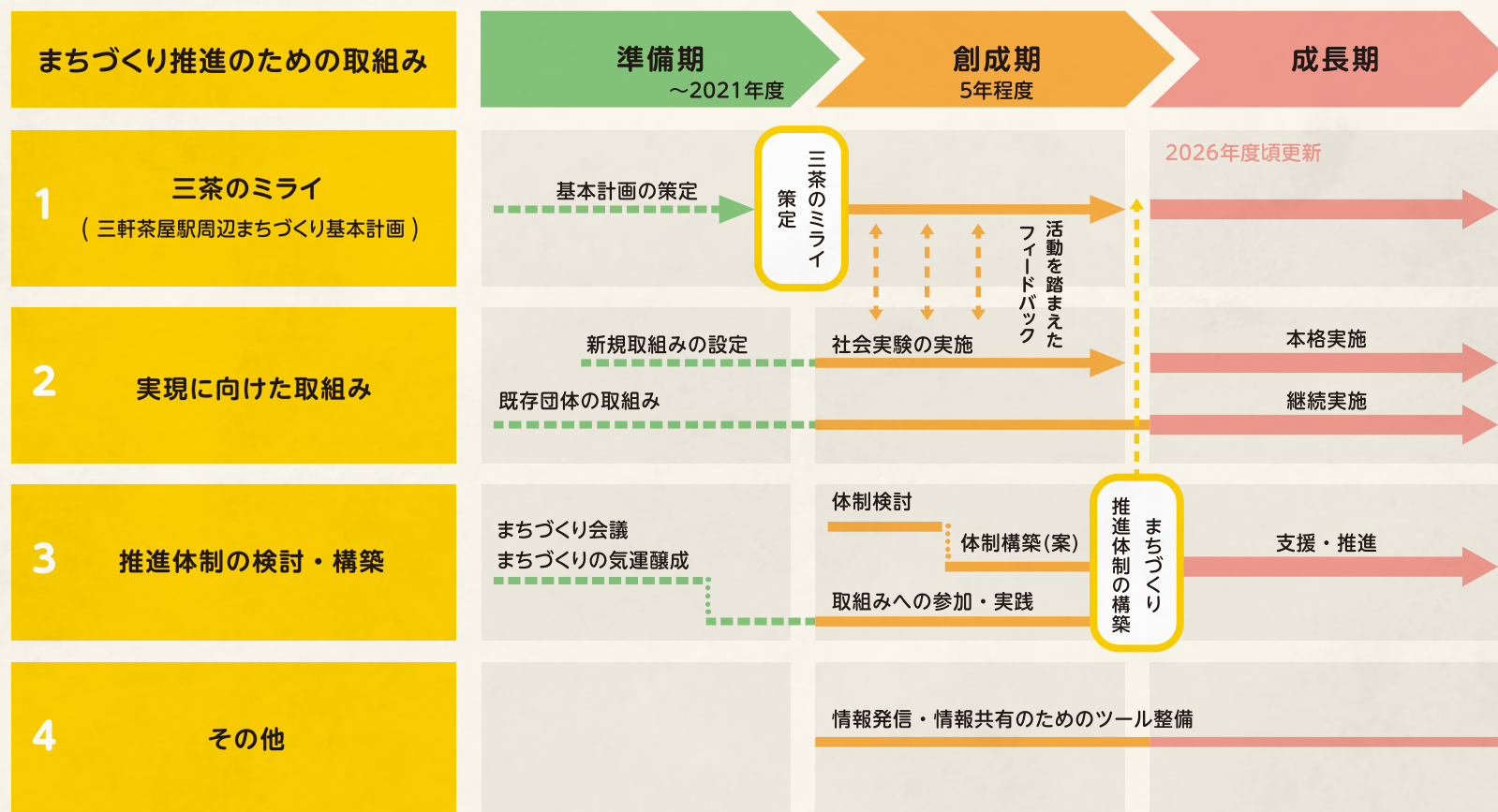
持続可能な協働のまちづくりを推進するためには、まちづくりの担い手やまちづくり支援組織、世田谷区が互いに関係性を持ちつつ、それぞれの立場や強みを活かしながらまちづくりに参加できる体制が必要です。まちづくり支援組織は、まちづくりの担い手に対し、必要に応じて助言や活動の支援、関係者との調整などを行い、9つの未来像の実現に向けて推進していきます。

また、世田谷区は、学識経験者や地元有識者などの専門家から助言を受けながら、まちづくりの担い手の一員として、担い手が育ち繋がる仕組みに参加するとともに、公共施設や公的施設の利活用に向けた調整など行政的支援をしていきます。

今後、まちづくりを進めていく上で、まちづくりの担い手が、まちづくり活動を展開するため、「三茶のミライ」を活用しながら9つの未来像実現のための取組みを積み重ね、みんながまちづくりに関わることができるまちづくり推進体制の構築をしていきます。

ソフトとハードが一体となったまちづくり推進プロセス

まちづくり推進体制構築を進める中、担うべき役割や関係性は変化していくことから推進プロセスを整理しました。創成期では、まちづくり会議を継続し、社会実験を中心とした多様な主体と連携した身近な活動などの9つの未来像実現のための取組みを推進し、まちづくりの気運と熟度を高めていきます。成長期では、社会実験やみんなと連携した活動のフィードバックから、取組み内容を具体化し、その取組みを計画的に進めることにより「三茶のミライ」を実現していきます。



世田谷区 HP にて 最新情報を発信しています

「三茶のミライ」など、三軒茶屋駅周辺のまちづくりに関連する情報は世田谷区のホームページにて随時発信しています。

イベントの開催報告や、次回のお知らせなど最新情報を今後もお届けいたしますので、ぜひチェックしてください。



三軒茶屋駅周辺のまちづくり



本誌での名称について

本誌での名称	正式名称
基本方針	三軒茶屋駅周辺まちづくり基本方針
三茶のミライ	三茶のミライ（三軒茶屋駅周辺まちづくり基本計画）
まちづくり検討委員会	三軒茶屋駅周辺まちづくり検討委員会
まちづくり会議	三軒茶屋駅周辺まちづくり会議
まちづくりシンポジウム	三軒茶屋駅周辺まちづくりシンポジウム

三茶のミライ（三軒茶屋駅周辺まちづくり基本計画）

令和4(2022)年3月

発行	世田谷区	
編集	世田谷総合支所街づくり課	都市整備政策部市街地整備課
住所	世田谷区世田谷4-21-27	世田谷区玉川1-20-1
電話	03-5432-2872	03-6432-7155
FAX	03-5432-3055	03-6432-7982

世田谷区広報印刷物登録番号 No.2055



さつき広場で
大道芸やってたよ
お待たせ！
何だか賑やかな

昔と変わら
ず
ワクワクするね

大きくな
ったね